

市内では、今年に入っですに5件の被害が出ています。内訳は、オレオレ詐欺2件、架空料金請求詐欺2件、キャッシュカード詐欺盗1件。7月末までのカウントなのに、今年は被害額が群を抜いて多いです。

被害者が詐欺と気づくのは、だいたい半日から数日後。本人が後から考えておかしいなと気づくときもあれば、家族に話して気づくというときもあります。でも、そのタイミングですすでに遅く、犯人を捕まえることは困難です。それに、いまだに詐欺だと気づいていない人もいるかもしれません。

今までに何人もの被害者の様子を見聞きしてきましたが、みんな失ったお金のことよりも、家族に申し訳ないという後悔の念でいっぱいでした。また、家族に責められたり、将来を悲観したりして、命を絶つてしまう方もいます。1本の電話から、お金を失うだけでなく、幸せな家庭までもが壊れてしまうので

すよね。

被害にあわないためには、防犯機能の付いた電話や留守番機能を使うのがおすすめです。非通知や知らない番号からの電話に出ないのも、効果があります。相手は特殊詐欺のプロ。直接話すとだまされてしまうので、その機会自体を減らすことが大切です。また、電話でお金やキャッシュカードの話が出たら、まず詐欺を疑うこと。電話をいったん切り、家族や友人、警察に相談しましょう。

被害にあわないために

不審な電話に出ない

- ・警告メッセージや自動録音などの防犯機能付電話機を活用する
- ・在宅時も留守番電話に設定する
- ・ナンバーディスプレイを表示させる

特殊詐欺について知る

- ・家族や友人と特殊詐欺について話す
- ・市の出前講座などを利用する

蒲郡警察署 生活安全課長
守田 哲朗

特殊詐欺対策装置の購入を補助します

ID 0264086

対象

市内在住で、令和6年4月1日以降に次のいずれかを購入した方

- ① 自動着信拒否装置
- ② 自動応答録音装置
- ③ ①や②の機能がついている固定電話機

補助額

購入費の2分の1（上限7,000円）

※1世帯につき1台まで

申し込み

令和7年3月31日頃までに申請書（市ホームページ、交通防犯課にあります）・必要書類を直接、交通防犯課へ。

